



取扱説明書

DVA-5210

DVD-VIDEO/CD/MP3/WMA PLAYER

MP3



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター TEL:048-662-6636
- インフォメーションセンター
西日本分室 TEL:06-6386-2236
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China (Y-498)

68P02294K87-C

⚠ 安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

本機で再生できるディスクについて

安全にお使いいただくために

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意(共通)

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない
雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。
また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

● 再生できるディスク

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVDビデオ		音声 + 映像(動画)	12 cm*	片面ディスク 約4時間
				両面ディスク 約8時間
			8 cm	片面ディスク 約80分
				両面ディスク 約160分
ビデオCD		音声 + 映像(動画)	12 cm	約74分
			8 cm	約20分
音楽CD		音声	12 cm	約74分
			8 cm (CDシングル)	約20分

* DVD二層ディスクに対応しています。

** ディスクレーベル面に「CDロゴ」上記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

● 再生できないディスク

DVD-ROM、DVD-RAM、DVD + R、DVD + RW、CD-ROM(MP3/WMAファイルを除く)、フォトCD、ナビゲーション専用ディスクなど。

● DVD リージョン番号(再生可能な地域番号)について

このDVDヘッドユニットのリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号を含んでいないまたは、が表示されていないディスクは再生できません。



● ビデオCDについて

本機は、プレイバックコントロール(PBC)付き対応ビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。

PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

- コンパクトディスク (CD/CD-R/CD-RW) のご使用について

CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R (CD-Recordable) / CD-RW (CD-ReWritable)、MP3 / WMA ファイル形式のCD-R / CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。

指紋やキズが付いている / 車内や製品内に長時間放置した / データ書き込み状態が不安定 / データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMA ファイルはISO9660 レベル 1 またはレベル 2 フォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは 36 ページを参照してください。

- コンパクトディスク (CD/CD-R/CD-RW) の取り扱い故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼らない / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する / 市販のアクセサリを使わない。

特に CD-R/CD-RW は以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。 高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

- CD-R/CD-RW をご使用のお客様へ
- ・ CD-R/CD-RW が再生できない場合は、クローズセッション (ファイナライズ処理) を行っているかどうか、確認してください。
- ・ 行われていない場合は、クローズセッション (ファイナライズ処理) を行い、再度お試しください。
- DVD-R/DVD-RW ディスクのご使用について
- ・ 本機は、DVD-Video モードで記録されたディスクにのみ対応しております。DVD-VR モードで記録されたディスクの再生はできません。
- ・ ファイナライズ処理 (再生専用 DVD プレーヤーで再生可能にするための処理) がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ・ ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。(本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります)
- ・ 録画に使用した DVD レコーダや DVD-R/DVD-RW ディスクの特性、傷、汚れ、または DVD プレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。

- ・ DVD-R/DVD-RW ディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- ・ DVD-R/DVD-RW ディスクのレーベル面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- ・ DVD-R/DVD-RW ディスクは通常の DVD に比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。

- ディスクに関する用語について

タイトル

DVD ビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

- 取り扱い上のご注意 (ディスク)

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

ディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ (突起) があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビー、PRO LOGIC およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

非公開機密著作物。著作権 1992 - 1997 年

ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

DTS および DTS 2.0+Digital Out は米国 Digital Theater System, Inc. の登録商標です。

Windows Media™ および Windows® ロゴは、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

目次

⚠ 安全にお使いいただくために

警告 / 注意	2
本機で再生できるディスクについて	3
目次	5

ご使用になる前に

リモコンご使用にあたって	6
ディスクの出し入れ	7



基本操作

電源の ON/OFF	8
リセットする	8
NTSC/PAL の切りかえ	8

DVD / ビデオ CD 操作

DVD / ビデオ CD を再生する	9
再生中止 (PRE-STOP)	9
再生停止	9
早送り / 早戻し	10
チャプター / トラックの頭出し	10
静止 (一時停止) する	10
コマ送り再生	10
スローモーション再生	10
タイトル番号で頭出し (DVD のみ)	10
チャプター / トラック番号で直接頭出し	11
チャプター / トラック / タイトルリピート再生	11
音声言語切りかえ	11
アングル切りかえ (DVD のみ)	12
サブタイトル (字幕言語) 切りかえ (DVD のみ)	12
ディスクの使用状態を表示する (DVD のみ)	13
ディスクの使用状態を表示する (ビデオ CD のみ)	13
他のソース (CD / ラジオなど) を聴きながら、 DVD の映像を映すには (Ai-NET 接続時のみ)	13

CD 操作

CD (ディスク) を聴く	14
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	14
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	14

MP3/WMA 操作

MP3/WMA を聴く	15
フォルダを選択する	15
MP3/WMA 再生データを設定する	15
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	16
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	16
フォルダ / ファイルサーチ	16

DVD の初期設定 (SETUP)

言語設定を変更する	17
TV スクリーン設定を変更する	18
カントリーコード設定を変更する	19
視聴規制 (パレンタルロック) を設定する	19
デジタル出力設定を変更する	20

カスタム設定 (CUSTOM SETUP)

Ai-NET 設定を変更する	22
操作音の設定を変更する	23
スクロールタイプの設定を変更する	23
タイトルスクロールの設定を変更する	24

ヘッドユニットからの操作

DVD / ビデオ CD / CD / MP3 / WMA を再生する	25
---	----



取り付けと接続

取り付けと接続	26
---------------	----

その他

Q & A	32
用語解説	33
言語コード表	34
DVD について	35
MP3/WMA について	36
故障かな? と思ったら	37
規格	39
保証について	39
お問い合わせ窓口	40
リモコンボタンの機能	41
別売リモコン (RUE-4192) からの操作	42
索引	43

リモコンご使用にあたって

リモコン使用時のご注意

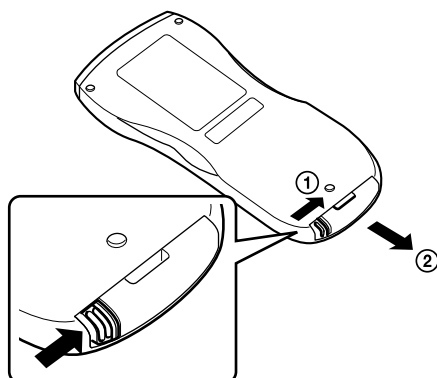
- リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量な精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池を入れる

電池はリチウム電池（CR2025）をご使用ください。

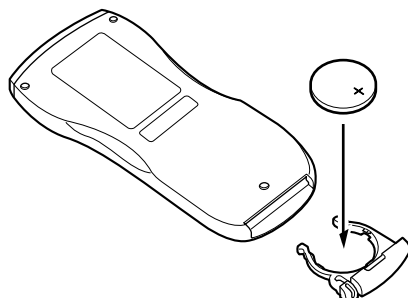
1 電池ホルダーを外す

矢印①の方向へ押ししながら、矢印②の方向へ押し出します。



2 電池を入れる

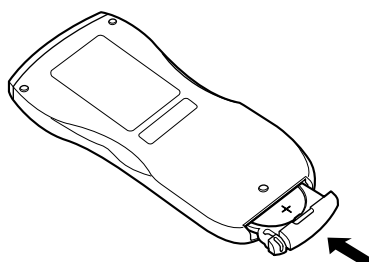
図のように(+)側を上に向けて、電池を入れてください。



- 電池の極性を逆に入れると故障の原因になります。

3 電池ホルダーを閉める

電池ホルダーを“カチッ”と音がするまで差し込みます。



⚠ 警告

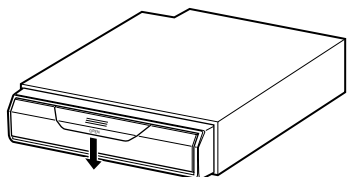
運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。
事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

ディスクの出し入れ

ディスクの出し入れは電源をONしてから行ってください。
 (「電源のON/OFF」(8ページ)参照)

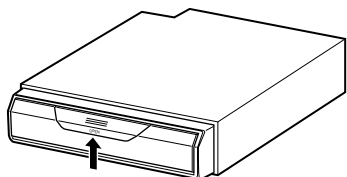
ディスクを入れる

- 1 ドアを下方へ押しスライドさせる。



- 2 文字やイラストが書いてある面を上にしてディスクを挿入する。
 途中でディスクを挿入すると、自動的に引き込まれ、再生を開始します。

- 3 ドアを閉める。
 ホコリの侵入を防ぐために必ずドアを閉じること。

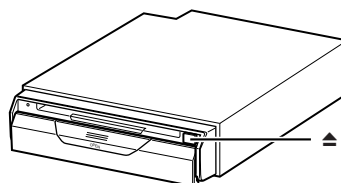


Memo

- 両面ディスクのDVDは、自動でウラ面を再生しません。ディスクを取り出しウラ返しに入れ直してください。
- ナビゲーション用の地図ディスクは、絶対に挿入しないでください。故障の原因になります。
- 非対応ディスク、裏返しディスク、キズ/よごれているディスクなどを挿入した場合は、「DISC ERROR」とモニターディスプレイに表示されます。ディスクを取り出してください。
- イグニッションキーがACCまたはONであれば、本機の電源がOFFの状態でもディスクは挿入できます。

ディスクを取り出す

- 1 ドアを下方へ押しスライドさせる。
- 2 「▲」を押す。
 ディスクは必ず取り出す。



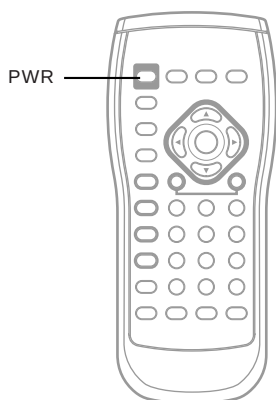
- 3 ドアを閉める。
 ホコリの侵入を防ぐために必ずドアを閉じること。

Memo

- 取り出し動作中は決してドアを閉じないでください。ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。
- ACC OFF時およびディスクローディング中(「LOADING」表示中)に「▲」を押してもディスクは排出されません。
- ディスクを取らずにしばらく放置すると自動的に引き込まれます。



基本操作



基本操作

プレイポジションメモリ機能：

再生中に電源またはイグニッションキーを OFF にしたり、ソースを切りかえても次に電源を ON すると続きから再生します。ディスクを取り出した場合はプレイポジションメモリは解除されます。

電源の ON/OFF

Ai-NET でヘッドユニットと接続している場合



注意

- アルパイン製品のヘッドユニットと接続のお客様へ
本機を Ai-NET 対応 AV ヘッドユニットまたは Ai-NET 対応ヘッドユニットと接続した場合は、ご使用になる前に巻末の「必ずお読みください」をよくお読みになり「システムスイッチ 切り換え」の「Ai-NET 設定」を必ず設定してからお使いください。
- Ai-NET 対応 AV ヘッドユニットまたは Ai-NET 対応ヘッドユニットと接続した場合、システム全体の電源を本機のリモコンで立ち上げると、立ち上がるまで時間がかかる場合があります。これは、システムで通信が行われるためで故障ではありません。
- Ai-NET 対応 AV ヘッドユニットまたは Ai-NET 対応ヘッドユニットと接続した場合は、リモコンから電源を切ることはできません。ヘッドユニット側のソースを切りかえることにより本機の電源は OFF します。詳しくは「ヘッドユニットからの操作」(25 ページ)をご覧ください。

- 1 ヘッドユニット側のソースを DVD にする。
電源が入る。



Memo

- ヘッドユニットによっては、DVD ソースを選択できない製品もあります。その場合は、リモコンの「PWR」を押して電源を ON にしてください。

- 2 電源を切るときは、ヘッドユニット側のソースを切りかえる。

Ai-NET でヘッドユニットと接続していない場合



注意

- Ai-NET でヘッドユニットと接続していないお客様へ
本機を Ai-NET 対応ヘッドユニットと接続しないでお使いになる場合は、ご使用になる前に巻末の「必ずお読みください」をよくお読みになり「システムスイッチの切り換え」を「2」(STANDALONE)側に切りかえてからお使いください。

- 1 リモコンの「PWR」を押す。
電源が入る。
- 2 電源を切るときは、再度「PWR」を押す。

リセットする

初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、電源を切る。
- 2 ドアを開く。
「ディスクの出し入れ」(7 ページ) 参照。
- 3 リセットスイッチをペン先などで押す。

リセットスイッチ



NTSC/PAL の切り換え

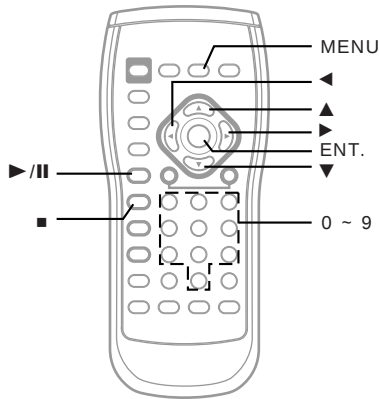
ディスク使用状態の表示形式 (NTSC/PAL) を切りかえます。

- 1 「PWR」を 2 秒以上押す。



Memo

- 国内では NTSC が標準となっていますので、切りかえる必要はありません。工場出荷時は NTSC に設定されています。
- 映像出力形式が合っていないと「VIDEO SIGNAL SYSTEM IS NOT CORRECT」と表示し再生を開始しません。



DVD / ビデオ CD 操作

DVD / ビデオ CD を再生する

- 注意**
- DVDの場合、ディスクによって各種操作を禁止しているものもあり、これらのディスクでは操作を受け付けられない場合があります。
 - ディスクによっては本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書も合わせてご覧ください。
 - ディスクに指紋が付くと再生しない場合があります。再生しない場合は、ディスクを取り出し、きれいにふき取ってからご使用ください。
 - リモコンのボタンを押すときは、1つずつ確実に押してください。同時に複数のボタンを押すと誤動作の原因になります。
 - 再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにしたり、ソースを切りかえても次に電源をONすると、続きから再生します。ディスクを取り出した場合はプレイポジションメモリは解除されます。
 - ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。Ⓢマークが表示された場合は、その操作は受け付けられません。

- 1 ディスクを挿入する。
挿入のしかたは、「ディスクの出し入れ」(7ページ)を参照してください。
再生が始まります。再生中は本機正面のVIDEOインジケータが橙色に点灯します。



- 両面ディスクのDVDは、自動でウラ面を再生しません。ディスクを取り出しウラ返しに入れ直してください。
- プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCD再生中にSELECT画面が表示された場合は、「▶/||」を2秒以上押すと再生されます。

メニュー画面が表示されたら

DVDやプレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDでは、自動的にメニュー画面が表示される場合があります。この時は次の操作を行い再生させてください。



- ディスクによって異なりますが、「MENU」を押してメニュー画面を表示させることもできます。

DVD メニュー

「▲」「▼」または「◀」「▶」を押して希望の項目を選び「ENT.」を押す。



- ディスクによっては「0~9」(10キー)で直接メニュー項目を選ぶことができます。

ビデオ CD メニュー

「0~9」(10キー)を使い希望する番号を選び「ENT.」を押す。



- PBCがOFFになっている場合はメニュー画面は表示されません。その場合は「MENU」を押してPBCをONにしてください。

再生中止 (PRE-STOP)

再生中に停止ボタンを押すと止まり、その位置を記憶します。

- 1 再生中に「■」を1回押す。
「PRE-STOP」と表示される。
- 2 PRE-STOP中に「▶/||」を押す。
再生中止した位置から再生される。



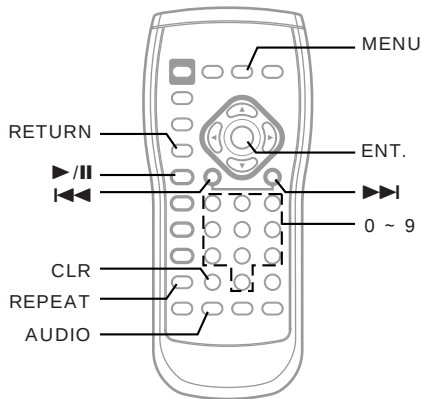
- ディスクによってはPRE-STOPしたとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。

再生停止

- 1 再生中に「■」を2回押す。
「STOP」と表示される。



- 「■」を2秒以上押しても再生は停止します。
- 停止中に「▶/||」を押すと始めから再生されます。



早送り / 早戻し

- 1 再生中に「I◀◀」(早戻し)または「▶▶I」(早送り)を押し続けると、2倍速で早送り / 早戻しする。さらにその状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送り / 早戻しができる。
- 2 通常再生に戻すには「I◀◀」または「▶▶I」をはなす。



- 早送り / 早戻し中に音声と字幕は再生されません。
- DVDおよびプレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDでは早送り / 早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。

チャプター / トラックの頭出し

- 1 再生中に「I◀◀」または「▶▶I」を押す。押すたびにチャプター / トラックが切りかわる。選んだチャプター / トラックの再生が始まる。
- ▶▶I 一つ後のチャプター / トラックの頭から再生。
I◀◀ 現在のチャプター / トラックの頭から再生。



- DVDによっては、チャプターが無いものもあります。

補足説明

チャプターとは、DVDに記憶されている映像や曲の区切り。トラックとは、ビデオCDやCDに記憶されている映像や曲の区切り(1曲分)。

静止 (一時停止) する

- 1 再生中に「▶/||」を1回押す。
- 2 再度、再生するには「▶/||」を押す。



Memo

- 静止中に音声は再生されません。
- 一時静止画(ポーズ)の状態から再生を開始すると画像や音声が一瞬止まる場合がありますが故障ではありません。

コマ送り再生

- 1 一時停止中に「▶▶I」を押す。押すたびに1コマずつコマ送り再生する。
- 2 通常再生に戻すには「▶/||」を押す。



Memo

- コマ送り再生中に音声は再生されません。

スローモーション再生

- 1 一時停止中に「▶▶I」を押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生になる。さらにその状態で5秒押し続けると1/2倍速にスローモーションの速度がかわる。
- 2 「▶▶I」をはなすと、一時停止になるので、「▶/||」を押して再生させる。



Memo

- スローモーション再生中に音声は再生されません。
- スライドショーを再生中にスロー再生はできません。
- 1/2倍速、1/8倍速はおおよそその速さです。ディスクによっても異なります。
- バックスローモーション再生はできません。

タイトル番号で頭出し (DVDのみ)

DVDに記憶されているタイトルから簡単に頭出しできます。

- 1 再生停止中に、再生させたいタイトル番号を「0」~「9」で入力する。
- 2 「ENT.」を押す。選んだタイトル番号から再生が始まる。



Memo

- PRE-STOPの状態ではチャプター / トラック番号の頭出しになります。
- タイトル番号が記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- タイトル番号が2桁のときは、手順2の「ENT.」を押さなくても自動で再生が始まります。
- 「CLR」を押すたびに、タイトル番号を1桁ずつ消去できます。「CLR」を2秒以上押すと、タイトル番号をすべて消去できます。
- 「RETURN」を押すと、頭出しモードは解除されます。

チャプター／トラック番号で直接頭出し

ディスクに記憶されているチャプター／トラックを簡単に頭出しできます。

- 1 再生中または PRE-STOP 中に、再生させたいチャプターまたはトラック番号を「0」～「9」で入力する。
- 2 「ENT.」を押す。
選んだチャプター／トラックから再生が始まる。



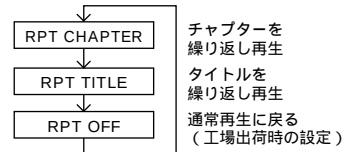
- チャプターが記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- 入力桁数によっては、手順2の「ENT.」を押さなくても自動で再生が始まります。
- 「CLR」を押すたびに、チャプター／トラック番号を1桁ずつ消去できます。「CLR」を2秒以上押すとチャプター／トラック番号をすべて消去できます。
- 「RETURN」を押すと頭出しモードは解除され通常再生に戻ります。

チャプター／トラック／タイトルリピート再生

ディスクのタイトルやチャプター、トラックを選び繰り返し再生できます。

- 1 再生中に「REPEAT」を押す。
押すごとにリピートの種類が変わる。

DVD



ビデオ CD



- プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDではトラックリピート／ディスクリピートは使用できません。「MENU」を押してPBC OFFにしてから行ってください。
- ディスクによってはリピートの種類が切りかえられない場合があります。

音声言語切りかえ

複数の音声または音声言語が記録されているDVDでは、再生中に音声言語を一時的に切りかえることができます。

- 1 再生中に「AUDIO」を押す。
押すごとにディスクに記録されている音声切りかわる。

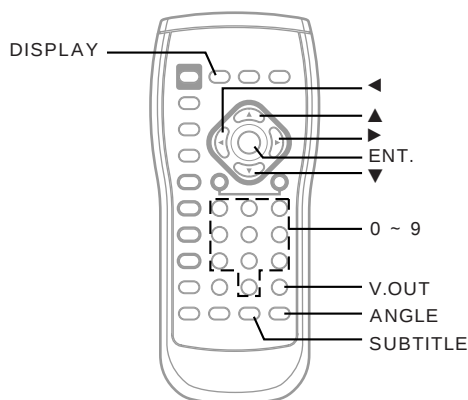


- 電源投入時／ディスク交換時は初期設定(17ページ)で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから音声を選んでください。
- 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

- 多重音声記録されているビデオCD

- 1 再生中に「AUDIO」を押す。
押すごとにLチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせが変わる。

LR → LL → RR → LR



アングル切り換え (DVD のみ)

複数のアングルで撮影された映像が記録されているDVDでは、再生中にアングル(角度)を切り換えることができます。

- 1 再生中に「ANGLE」を押す。
押すごとにディスクに記録されているアングルが切りかわる。



- アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによって異なりますがアングル切り換えには2種類あります。
 - シームレス:
つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ノンシームレス:
アングル切り換え時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。

サブタイトル (字幕言語) 切り換え (DVD のみ)

複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中に字幕言語の切り換えや非表示することができます。

- 1 再生中に「SUBTITLE」を押す。
押すごとにディスクに記録されている字幕言語が切りかわる。また字幕を OFF にする。



- 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては再生中の切り換えができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- 電源投入時 / ディスク交換時は初期設定 (17 ページ) で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。

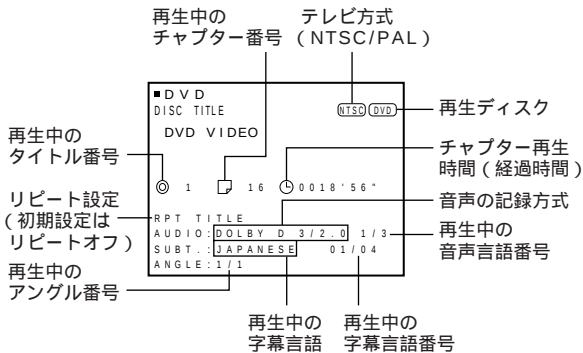
- ディスクメニューからの切り換え
ディスクによって異なりますが、音声言語、アングル、サブタイトルをディスクメニューから切り換えることができます。
 - 1 「MENU」を押してメニューを表示させ、項目を選び「ENT.」を押す。
 - 2 「▲」「▼」または「◀」「▶」を押して言語またはアングルを選び「ENT.」を押す。
(ディスクによっては言語またはアングルメニュー表示中に「0 ~ 9」で選ぶことができます。)



ディスクの使用状態を表示する (DVD のみ)

再生中のDVDビデオディスクの状態(タイトル番号、チャプター番号など)をモニター画面に表示して確認することができます。

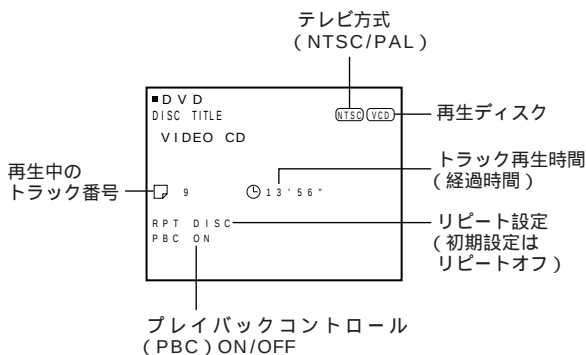
- 1 再生中に「DISPLAY」を押す。
再生状態が約 5 秒間表示される。



ディスクの使用状態を表示する (ビデオCD のみ)

再生中のビデオCDの状態(トラック番号など)をモニター画面に表示して確認することができます。

- 1 再生中に「DISPLAY」を押す。
再生状態が約 5 秒間表示される。



他のソース（CD / ラジオなど）を 聴きながら、DVD の映像を映すに は（Ai-NET 接続時のみ）

本機とAi-NET対応ヘッドユニットおよびAi-NET対応AVヘッドユニットを接続している場合、DVDの映像をモニターに独立で出力することができます。また、リアモニターを接続している場合は、DVDの映像と音声をリアモニターに独立で出力することができます。例えば、ヘッドユニットでCD/ラジオを聴きながら、フロントモニターやリアモニターにDVDの映像を出力することができます。

- 1 ヘッドユニットおよびAVヘッドユニット側のソースをCDまたはラジオなどに切りかえる。
- 2 AVヘッドユニットまたはフロントモニター側のサイマル機能を使い「V.SEL」スイッチで本機のDVD映像を選ぶ。
- 3 本機リモコンの「V.OUT」を押す。
これでDVD / ビデオCDの映像を見ることができる。
- 4 この機能を使った後は、必ず「V.OUT」を押して解除する。

⚠ 注意 • ビデオOUTモードを解除せずに電源やイグニッションキーでOFFすると、次に電源をONしたときにビデオOUTモードのままでは立ち上がり、ヘッドユニットおよびAVヘッドユニットでソースを切りかえたり、本機の電源をOFFしようとしても本機の電源はONしたままになってしまいます。その場合は、「V.OUT」ボタンを押して解除してください。

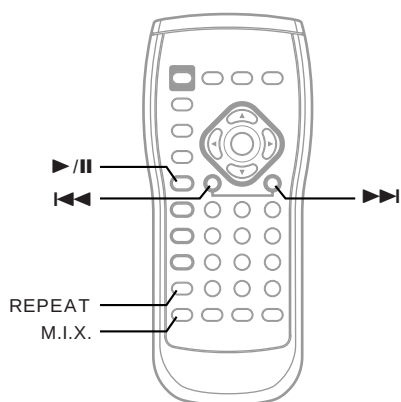
リアモニターでDVDを見る場合

- 5 AVヘッドユニットまたはフロントモニター側の「リアモニターセレクト機能(AUXOUT)」を本機のDVD映像に設定する。



Memo

- モニターにリアモニターセレクト機能がない場合は、リアモニターは接続できません。
- 接続している製品によっては、操作スイッチなどが異なる場合があります。詳しくは、接続している製品の取扱説明書をご覧ください。



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 再生中に「REPEAT」を押す。
選んだ曲を繰り返し演奏する。
- 2 解除するには、再度「REPEAT」を押す。

CD 操作

CD (ディスク) を聴く

- 1 ディスクを挿入する。
挿入のしかたは、「ディスクの出し入れ」(7 ページ)を参照してください。
再生が始まります。再生中は本機正面のAUDIO CD インジケーターが橙色に点灯します。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して聴きたい曲を選ぶ。
 - 演奏中の曲の頭出し「◀◀」を押す。
 - 早戻し「◀◀」を押し続ける。
 - 次の曲の頭出し「▶▶」を押す。
 - 早送り「▶▶」を押し続ける。
- 3 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



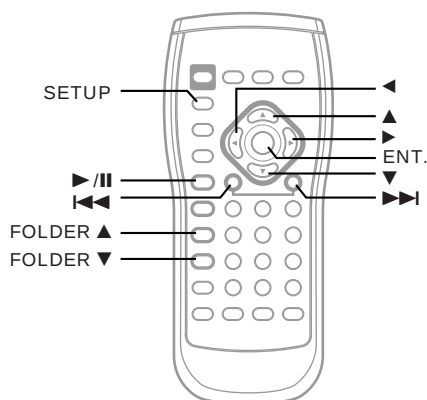
Memo

- CD再生中は、モニター画面にCDの状態(トラックNo.、TEXTなど)が表示されます。
- シングルCD(8cm CD)はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。

曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押す。
順不同に曲を演奏する。
- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。



MP3/WMA 操作

MP3/WMA を聴く

本機で再生できるMP3/WMAは、ISO9660 level1またはlevel2フォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMAについて」(36ページ)を参照してください。なお、DRM(著作権管理 Digital Rights Management)システムのWMAファイルは再生できません。

1 ディスクを挿入する。

挿入のしかたは、「ディスクの出し入れ」(7ページ)を参照してください。
再生が始まります。再生中は本機正面のMP3/WMAインジケータが橙色に点灯します。
MP3/WMAのディスクは、演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

2 「I◀◀」または「▶▶I」を押して聴きたい曲を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し 「I◀◀」を押す。
- 早戻し 「I◀◀」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し 「▶▶I」を押す。
- 早送り 「▶▶I」を押し続ける。

3 演奏を一時停止するときは、「▶||」を押す。 再度「▶||」を押すと、演奏が再開する。



- MP3/WMAを再生中は、モニター画面にMP3/WMAの状態(フォルダNo.、ファイルNo.、タグ情報など)が表示されます。
- 本機はオーディオデータとMP3/WMAデータが混在するディスクでも再生が可能です。
- 作成したライティングソフト/MP3変換ソフトによっては再生できない場合があります。その際は他のソフトでお試ください。
- 早戻し操作は、現在聴いている曲のみの早戻しになります。
- 早送り/早戻し中に音声は出力されません。

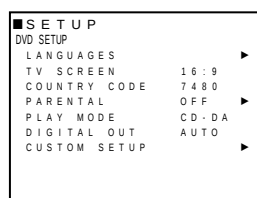
フォルダを選択する

- 1 「FOLDER ▲」または「FOLDER ▼」を押して前後のフォルダを選びます。

MP3/WMA 再生データを設定する

オーディオデータとMP3/WMAデータ混在ディスクのオーディオデータのみを再生するか、MP3/WMAデータのみを再生するか設定することができます。オーディオデータとMP3/WMAデータ混在ディスク使用時のみ。

- 1 ディスクを挿入する前に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してPLAY MODEを選ぶ。

- 3 「◀」「▶」または「ENT.」を押してCD-DAまたはMP3/WMAを選ぶ。

CD-DA

オーディオデータとMP3/WMAデータ混在ディスクのオーディオデータのみを再生する。
工場出荷時はCD-DA。

MP3/WMA

MP3/WMAデータのみを再生する。

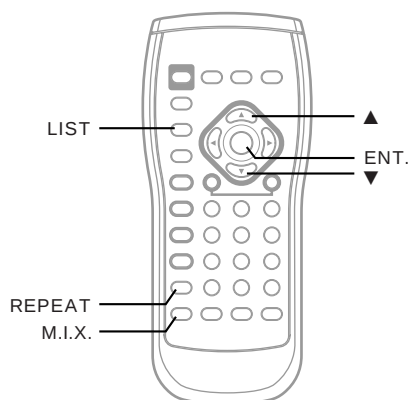
- 4 「SETUP」を押す。
設定を保存し、設定モードを終了する。



- ディスクが挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。

混在ディスクを再生するには:
オーディオデータ、MP3/WMAデータ、JPEGデータが含まれているディスクの場合、PLAY MODEの設定を「CD-DA」にすれば、オーディオデータのみが再生され、「MP3/WMA」に設定すれば、MP3/WMAデータのみを再生することができます。ただし、オーディオデータとJPEGデータのみが含まれているディスクの場合は、PLAY MODEの設定を「CD-DA」に設定すればオーディオデータは再生されますが、誤って「MP3/WMA」に設定してしまった場合、「DISC ERROR」と表示され再生はできません。

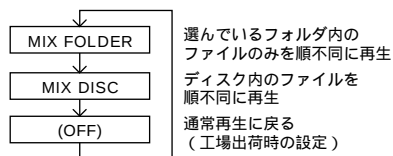




曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

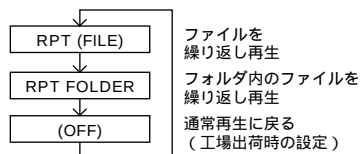
- 1 「M.I.X.」を押す。
押すごとにミックスの種類が変わる。



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 再生中に「REPEAT」を押す。
押すごとにリピートの種類が変わる。



フォルダ / ファイルサーチ

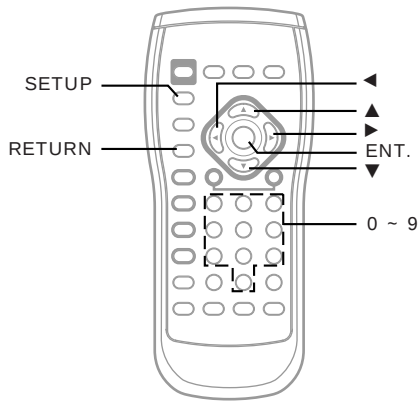
ディスク内のフォルダ名またはファイル名を表示して、フォルダまたはファイルを検索し演奏させることができます。

- 1 再生中に「LIST」を押す。
フォルダ名リストを表示します。
押すごとにリスト画面が変わります。
→フォルダ名→ファイル名→リスト画面OFF→
- 2 「▲」または「▼」を押してフォルダ名またはファイル名を選び、「ENT.」を押す。



Memo

- リスト名が9以上ある場合は、画面に▲または▼を表示します。「▲」または「▼」を押してスクロールできます。
- 「RETURN」を押すとサーチモードを解除します。



DVD の初期設定 (SETUP)

言語設定を変更する

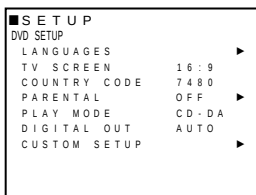
音声言語、字幕言語、メニュー言語をお好みに合わせ設定することができます。

設定された言語は固定され、常時日本語で聴きたい場合に便利です。(ディスクによっては、設定した言語がない場合があります。その場合は、そのディスクの優先言語になります。)



- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。
- 一時的に今観ているディスクの言語をかえた場合は、DVDメニューからかえるか、または「音声言語切りかえ」(11ページ)でかえることができます。
- ディスクが入っている状態で設定を変更した場合は、下記のいずれかを行うと設定が確定されます。
 - ・ ディスクイジェクト
 - ・ 電源をOFFにする
 - ・ ヘッドユニットのソースを切りかえる

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してLANGUAGESを選び、「▶」または「ENT.」を押す。言語設定画面が表示される。

- 3 「▲」または「▼」を押して設定項目を選ぶ。

MENU

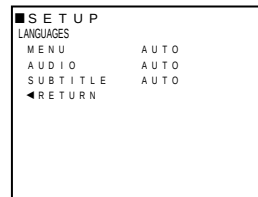
タイトルメニューなどのメニュー言語が設定できる。

AUDIO

スピーカーから出力される音声言語が設定できる。

SUBTITLE

画面に表示される字幕言語が設定できる。



- 4 「◀」または「▶」を押して設定したい言語を選ぶ。

音声言語、字幕言語、メニュー言語の設定言語

AUTO ¹ ↔ OTHERS ² ↔ ENGLISH ↔ JAPANESE ↔ GERMAN ↔ SPANISH ↔ FRENCH ↔ HINDI ↔ HUNGARIAN ↔ ITALIAN ↔ YIDDISH ↔ PORTUGUESE ↔ RUSSIAN ↔ CHINESE ↔ AUTO

1 AUTO

AUTO : ディスクに記録されている最優先の音声言語または字幕言語で再生される。

2 OTHERS

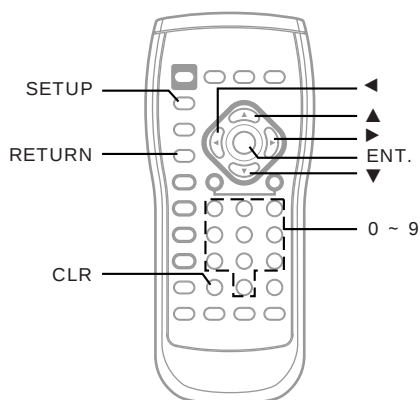
OTHERS : 表示されている以外の言語で再生したいときに設定する。「ENT.」を押してから「0」～「9」キーで4桁の言語番号を入力し、「ENT.」を押す。言語番号は「言語コード表」(34ページ)を参照。



- 選んだ言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。
- 各言語の工場出荷時の設定。
メニュー言語 : AUTO
音声言語 : AUTO
字幕言語 : AUTO
- 「RETURN」を押す、または「▲」「▼」を押して「RETURN」を選び「ENT.」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 「SETUP」を押す。設定を保存し、設定モードを終了する。

DVD の初期設定 (SETUP)



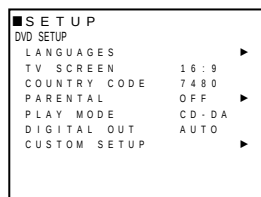
TV スクリーン設定を変更する

お使いのTVモニターに合わせて、画面の比率(アスペクト比)を設定します。



- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してTV SCREENを選ぶ。

- 3 「◀」「▶」または「ENT.」を押してスクリーンタイプを選ぶ。

16 : 9 ↔ 4 : 3 LB ↔ 4 : 3 PAN ↔ 16 : 9

16 : 9 (WIDE)

ワイドテレビに接続したときに選ぶ。工場出荷時は16 : 9。



4 : 3 LB (LETTER BOX)

従来サイズの4 : 3のモニターに接続した時に選ぶ。アスペクト比16 : 9の映像を再生した場合は、上下に黒帯が入る。



4 : 3 PAN (PAN-SCAN)

従来サイズの4 : 3のモニターに接続した時に選ぶ。画面全体に表示する。(アスペクト比16 : 9の映像を再生した場合は、左右が切れる)



- ディスクによっては設定した画面サイズにならない場合があります。(詳しくはディスクのジャケットに記載されている内容をご覧ください)
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 4 「SETUP」を押す。
設定を保存し、設定モードを終了する。

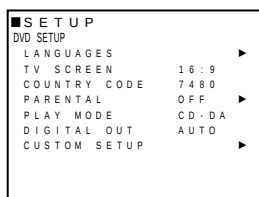
カントリーコード設定を変更する

視聴規制(パレンタルロック)を設定する時の、国番号を設定します。



- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してCOUNTRY CODEを選び、「ENT.」を押す。
カントリーコードがリセットされる。

COUNTRY CODE - - - -

- 3 「0」～「9」を押して4桁の数字を入力し、「ENT.」を押す。
日本のカントリーコード(7480)を入力する。

COUNTRY CODE 7 4 8 0



- 入力したコードが間違っている場合は、「CODE ERROR」と表示したあと、SETUP画面に戻ります。
- 「CLR」を押すたびに、1桁ずつ消去できます。また2秒以上押すと全て消去できます。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 4 「SETUP」を押す。
設定を保存し、設定モードを終了する。

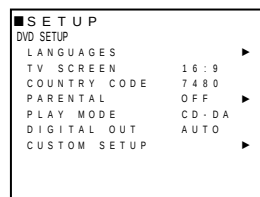
視聴規制(パレンタルロック)を設定する

お子様などに見せたくない映像を規制することができます。



- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してPARENTALを選び、「ENT.」を押す。
パスワード入力モードになる。

- 3 「0」～「9」を押して4桁のパスワードを入力し、「ENT.」を押す。

PARENTAL * * * *

入力された数字は*で表示される。

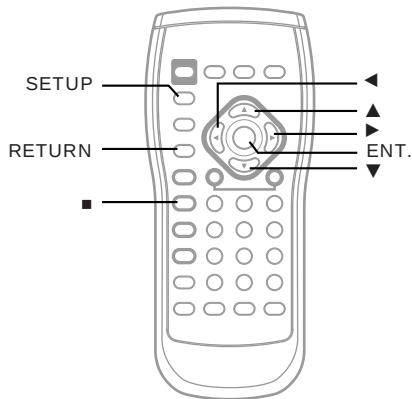
工場出荷時は1111。

規制レベル(PARENTAL LEVEL)入力画面を表示する。

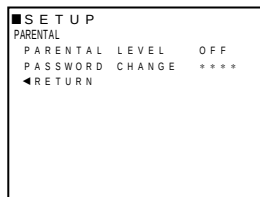


- 「CLR」を押すたびに、1桁ずつ消去できます。また2秒以上押すと全て消去できます。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。
- パスワードが間違っている場合は、SETUP画面に戻ります。

DVD の初期設定 (SETUP)



- 4 「▲」または「▼」を押して PARENTAL LEVEL を選ぶ。



- 「RETURN」を押す、または「▲」「▼」を押して「RETURN」を選び「ENT.」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 「◀」「▶」または「ENT.」を押して規制レベル値(1～8)を選ぶ。

規制を解除したいときや、設定しないときはOFFを選ぶ。規制レベルは数字が小さいほうが高くなる。



- 「RETURN」を押す、または「▲」「▼」を押して「RETURN」を選び「ENT.」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 6 「SETUP」を押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。



- パスワードを変更したい時は、PASSWORD CHANGEを選び新しいパスワード(数字4桁)を入力します。
注) パスワードは忘れないように、メモなどをして保管してください。
- 視聴制限がないDVDでは視聴規制を設定しても再生は制限できません。
- 設定した視聴規制は保持されます。違うディスクを再生したい時や視聴規制を解除したい場合は、設定を変更してください。

- テンポラリー・パレンタルレベル変更について

ディスクによっては、再生中に初期設定で設定した視聴規制レベル(パレンタルレベル)の変更を要求する場合があります。このとき、モニター画面に“PARENTAL LEVEL CHANGE OK?”と表示します。

この表示が出た場合は、下記の操作で設定してください。

- 変更したパレンタルレベルで再生する場合は、「ENT.」を押す。
- パレンタルレベルを変更しないで再生する場合は、「■」を押す。(「■」を押した場合は、「視聴規制(パレンタルロック)」を設定する」で設定したパレンタルレベルで再生されます。)



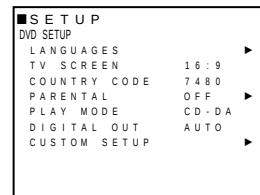
デジタル出力設定を変更する

本機からの音声を設定します。



- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。設定内容は車のバッテリー電源をはずしても記憶しています。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押して DIGITAL OUT を選ぶ。

3 「◀」「▶」または「ENT.」を押して出力モードを選ぶ。

AUTO

再生中の音声の記録方式に従いデジタル出力を自動で切りかえる。デジタルオーディオプロセッサと接続し、ドルビーデジタル音声で再生したい時は、必ず、AUTOにする。

工場出荷時は AUTO。

LPCM

ディスクに記録されている音声を 48kHz/16bit (DVD) または 44.1kHz (ビデオCD、CD) のリニア PCM 音声に変換して出力する。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

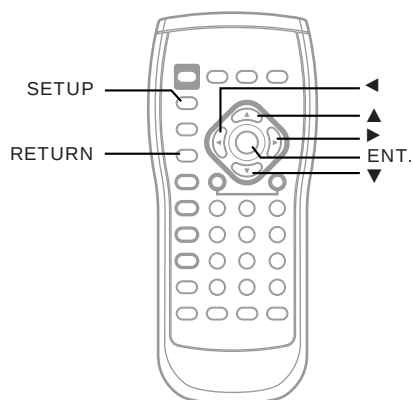
4 「SETUP」を押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。

● 音声出力 / 光デジタル音声出力について

ディスク	音声記録方式		デジタル出力設定	光デジタル音声出力 (デジタルオーディオプロセッサ接続時)	アナログ音声出力 (Ai-NET、RCA出力)
DVD	DTS		AUTO	DTSエレメンタリ ストリーム	○
			LPCM	LPCMエンコード2chダウンミックス (48kHz/16bit)	○
	ドルビーデジタル		AUTO	ドルビーデジタル	○
			LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
	リニアPCM	48kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		48kHz/20bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		48kHz/24bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/20bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/24bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
	MPEG2		AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
ビデオCD	MPEG1		AUTOまたはLPCM	LPCM (44.1kHz)	○
CD	リニアPCM		AUTOまたはLPCM	LPCM (44.1kHz)	○
	DTS		AUTO	DTSエレメンタリ ストリーム	○
			LPCM	LPCMエンコード2chダウンミックス (44.1kHz/16bit)	○
MP3	MPEG-1 Audio Layer3 ビットレート : 32kbps ~ 320kbps	32kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (32kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○
		48kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (48kHz/16bit)	○
WMA	Windows Media™ Audio ビットレート : 32kbps ~ 192kbps	32kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (32kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○
		48kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (48kHz/16bit)	○

カスタム設定 (CUSTOM SETUP)

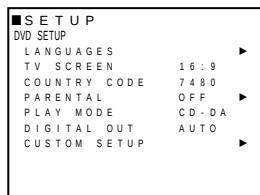


カスタム設定 (CUSTOM SETUP)

Ai-NET 設定を変更する

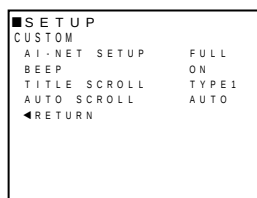
接続した Ai-NET 対応ヘッドユニットまたは AV ヘッドユニットに DVA-5210 で再生中のディスク情報を表示する設定をします。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押して CUSTOM SETUP を選び、「▶」または「ENT.」を押す。

- 3 「▲」または「▼」を押して AI-NET SETUP を選ぶ。



- 4 「◀」「▶」または「ENT.」を押して FULL/TIME を選ぶ。

FULL

2004年1月以降発売のAi-NET対応AVヘッドユニット (IVA-D300J など) と接続したとき、AVヘッドユニットで表示できる内容の情報を送信します。工場出荷時は FULL。

TIME

Ai-NET対応ヘッドユニットまたは2003年12月以前に発売されたAi-NET対応AVヘッドユニット (IVA-D900J など) と接続したとき、ヘッドユニット側に、再生時間、トラック No. 表示の情報を送信します。CD TEXT、TITLE などの情報はヘッドユニットで表示できません。

上記のヘッドユニットで、FULL に設定すると DVA-5210 の情報を認識できなくなり、再生時間、トラック No. 表示は正しく表示されません。



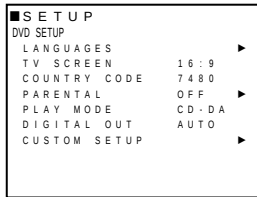
- 接続するAi-NET対応ヘッドユニットによって表示できる内容が異なる場合があります。
- 2001年1月以前に発売されたヘッドユニット、AVヘッドユニットでは、TIMEに設定してもDVA-5210の情報は正しく表示されません。
- 「RETURN」を押す、または「▲」「▼」を押して「RETURN」を選び「ENT.」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 「SETUP」を押す。
設定を保存し、設定モードを終了する。

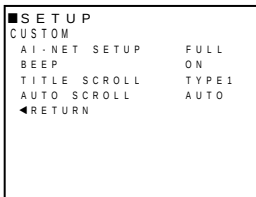
操作音の設定を変更する

スイッチを押したときに操作音を鳴らして操作を受け付けたことを伝えます。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「▶」または「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してBEEPを選ぶ。



- 4 「◀」「▶」または「ENT.」を押してON/OFFを選ぶ。

ON

操作音を鳴らす。
工場出荷時はON。

OFF

操作音がなくなる。



Memo

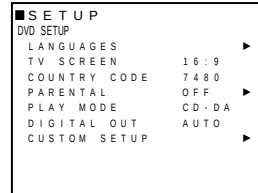
- 「RETURN」を押す、またはジョイスティックで「RETURN」を選び「ENT.」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 「SETUP」を押す。
設定を保存し、設定モードを終了する。

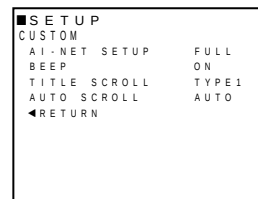
スクロールタイプの設定を変更する

オーディオCDのCD TEXT表示またはMP3/WMAのタグ表示(アルバム名/アーティスト名、曲名)のスクロールのタイプを設定することができます。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「▶」または「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してTITLE SCROLLを選ぶ。



- 4 「◀」「▶」または「ENT.」を押してTYPE1/TYPE2を選ぶ。

TYPE1

2段に表示されているCD TEXT、タグ表示を2段同時にスクロールします。
工場出荷時はTYPE1。

TYPE2

2段に表示されているCD TEXT、タグ表示を1段ごとにスクロールします。

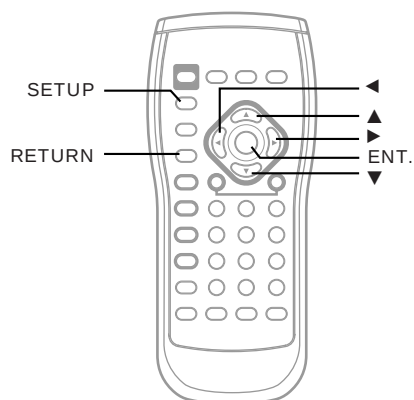


Memo

- 「RETURN」を押す、または「▲」「▼」を押して「RETURN」を選び「ENT.」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 「SETUP」を押す。
設定を保存し、設定モードを終了する。

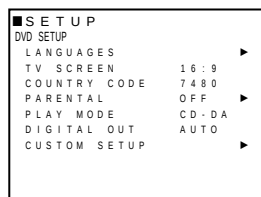
カスタム設定 (CUSTOM SETUP)



タイトルスクロールの設定を変更する

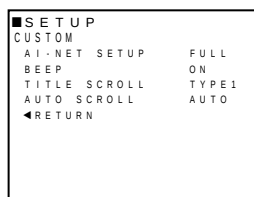
オーディオ CD の CD TEXT 表示または MP3/WMA のタグ表示 (アルバム名 / アーティスト名、曲名) をスクロールすることができます。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押して CUSTOM SETUP を選び、
「▶」または「ENT.」を押す。

- 3 「▲」または「▼」を押して AUTO SCROLL を選ぶ。



- 4 「◀」「▶」または「ENT.」を押して AUTO/MANUAL を選ぶ。

AUTO

CD TEXT、タグ表示を自動でスクロールします。

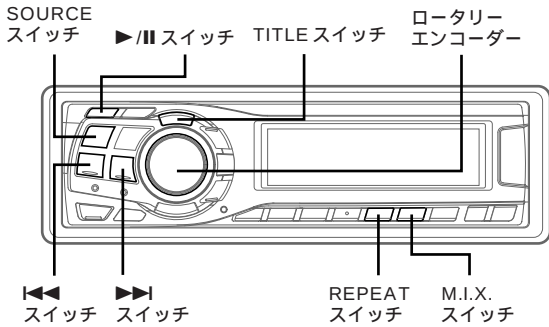
MANUAL

CD TEXT、タグ表示はスクロールしません。
工場出荷時は MANUAL。



- 「RETURN」を押す、または「▲」「▼」を押して
“ RETURN ”を選び「ENT.」を押すと1つ前の
画面に戻ります。

- 5 「SETUP」を押す。
設定を保存し、設定モードを終了する。



<例> CDA-9835J

ヘッドユニットからの操作

ALIPNE Ai-NET対応ヘッドユニットからも、本機の操作を行うことができます。ヘッドユニット側の説明書も合わせてご覧ください。また、本機では操作できない機能もありますのでご注意ください。

● ヘッドユニットから操作可能な機能一覧

ボタン	操作説明
SOURCE	オーディオソースを切りかえる。 DVD モードで DVD プレーヤーの電源 ON、DVD モード以外で電源 OFF。
TITLE	ヘッドユニット側の表示パターンの切りかえ。
REPEAT	DVD / ビデオ CD / CD / MP3 / WMA : リピートの切りかえ。
M.I.X.	DVD / ビデオ CD : 操作できません CD / MP3 / WMA : M.I.X. 演奏の切りかえ
>>>	1 つ後のチャプター / トラックの頭から再生する。 押し続けると早送りする。
<<<	現在のチャプター / トラックの頭から再生する。 押し続けると早戻しする。
>	プレイ / ポーズを切りかえ。
ロータリー エンコーダー	音量の調整。

DVD / ビデオ CD / CD / MP3 / WMA を再生する

- 1 「SOURCE」を押して DVD モードにする。
DVD モードで本機の電源が ON し、自動的に再生を開始する。
DVD モード以外にすると本機の電源が自動的に OFF する。
- 2 演奏を一時停止する時は、「>||」を押す。
再度「>||」を押すと、演奏が再開する。



Memo

- ヘッドユニットによっては、DVD ソースを選択できない製品もあります。その場合は、リモコンの「PWR」を押して電源を ON にしてください。
- プレイバックコントロール (PBC) 付きビデオ CD は PBC OFF にしてください。
- CD テキスト対応の音楽 CD では、ヘッドユニットのディスプレイにディスク名 / トラック名などを表示することができます。詳しくはヘッドユニット側の取扱説明書をご覧ください。
- MP3 / WMA では、ヘッドユニットのディスプレイにディスク名 / アーティスト名などのタグ情報を表示することができます。詳しくはヘッドユニット側の取扱説明書をご覧ください。ヘッドユニットによっては表示できない場合があります。
- CD、MP3 / WMA、ビデオ CD の SCAN 演奏はできません。



取り付けと接続

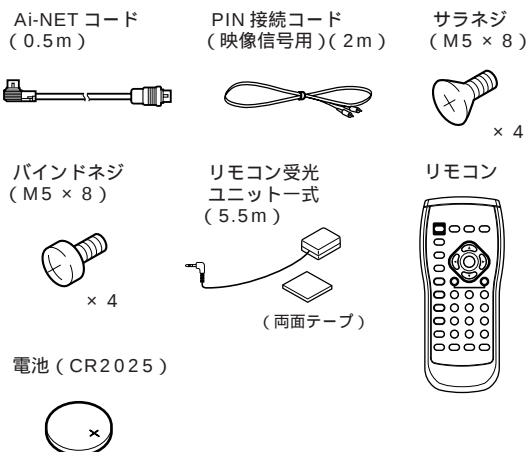
取り付けや接続の作業を行う前には、必ず 2 ～ 3 ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- 1) ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 2) 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 3) 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 4) 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 5) コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 6) 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 7) 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 8) 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
＜RCAコード、ピンコード＞
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される RCA 考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ/ビデオ/テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 9) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 10) 取り付け場所について
ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 11) 水平に対して 35 度以内に取り付けてください。
- 12) 不明な点はお買い上げの店/インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 1) 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 2) 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。



- 3) バッテリーのマイナス端子を外す。
- 4) 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 5) 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- 6) オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、4. 取り付ける 2) で利用します。）

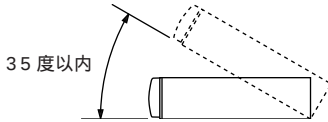
3. 接続する

- 1) 28 ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。（29 ～ 31 ページ参照）御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- 2) 正しく接続されているか、✓点があるかを確認する。
- 3) バッテリーマイナス端子を接続する。
- 4) イグニッションキーを ON にして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 5) 本機の電源を切る。
- 6) イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

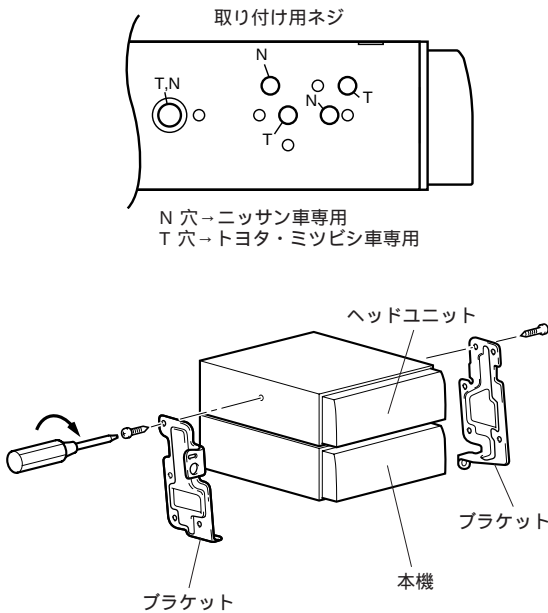


4. 取り付ける

- 1) ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



- 2) 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。



- 3) 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
- 4) インパネを取り付ける。
- 5) コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
- 6) バッテリーマイナス端子を接続する。



- 車両雑音から守るために
- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5. 確認する

- 1) イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
- 2) ホーン(クラクション)ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

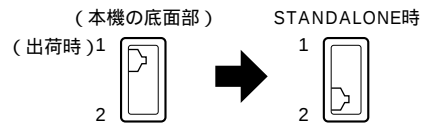
Ai-NET対応ヘッドユニット以外の製品と接続する場合、本機底面スイッチの切りかえが必要になります。

切りかえは次の手順で行ってください。

1. 電源コードを抜く。
2. 棒状のものを垂直に挿入する。
3. 指定のポジションに切りかえる。
4. 電源コードを接続する。

システムスイッチ

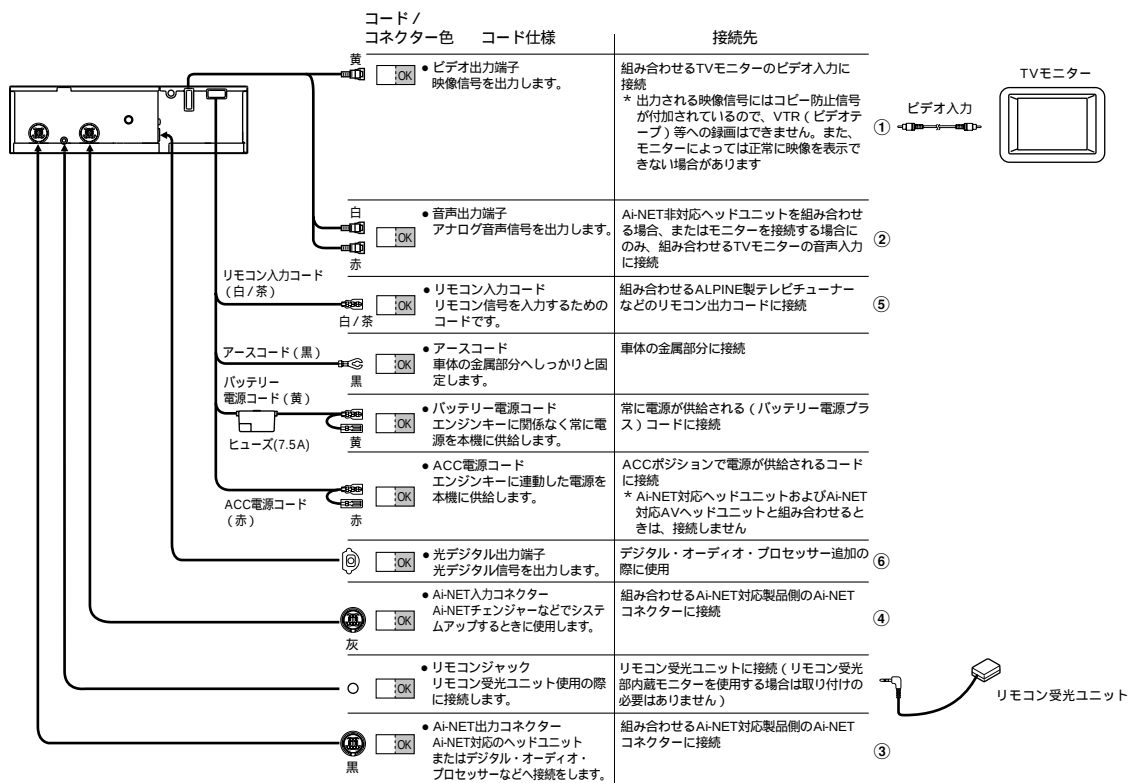
本機にAi-NET対応ヘッドユニット以外の製品を接続するとき(本機を外部入力対応のヘッドユニットで使用する場合は、「2」(STANDALONE)側に切りかえます。





取り付けと接続

基本接続図



注意

正しい接続をする
記載してある接続先以外には接続しないでください。



Memo

- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- ACC電源コードは、Ai-NET対応ヘッドユニットおよびAi-NET対応AVヘッドユニットと組み合わせるときは、接続しません。

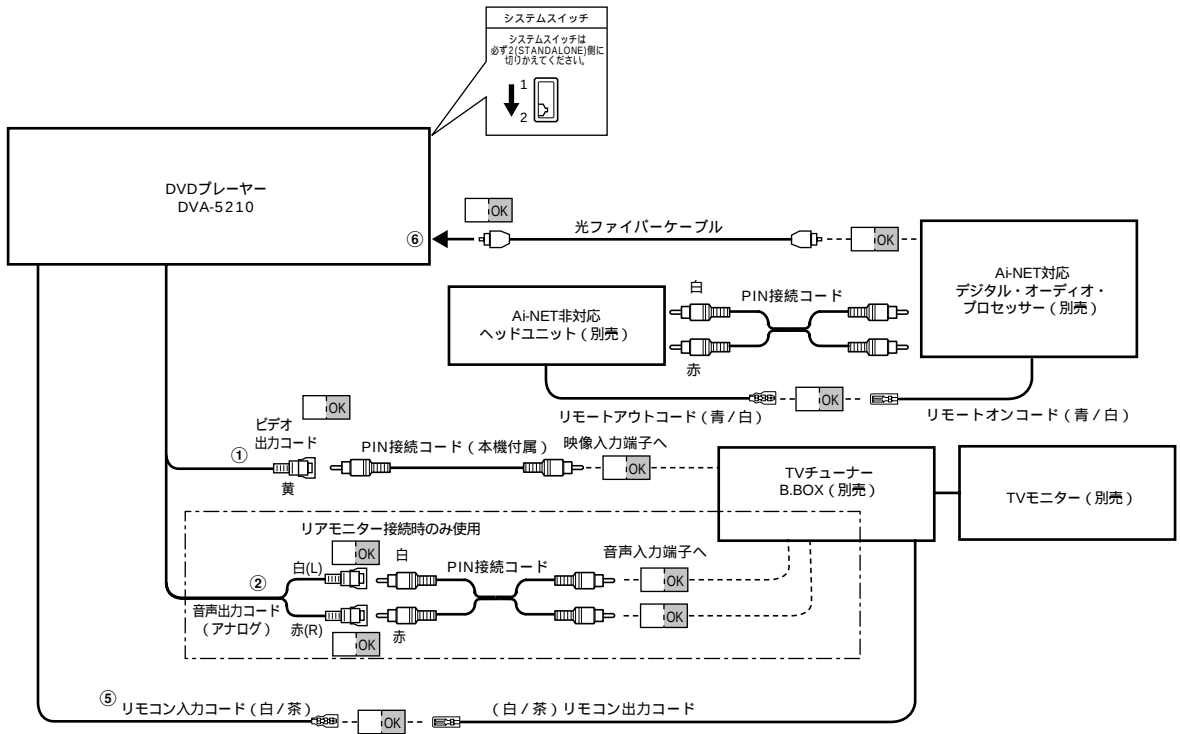


システムアップの例

● システムアップ時のご注意

- ・ 接続終了後、DVA-5210 のシステム設定を変更する必要があります。製品を固定する前に、巻末の「必ずお読みください」をご覧ください。
- ・ DVA-5210 を Ai-NET 対応ヘッドユニット、Ai-NET 対応 AV ヘッドユニットと接続する場合は、ACC 電源コードは接続しないでください。
- ・ DVA-5210 と ALPINE TV モニター、AV ヘッドユニットと接続する場合、お互いのリモコン入力コード（白 / 茶）は必ず接続してください。リモコン操作ができなくなります。
他社の TV モニターと接続する場合は、添付のリモコン受光ユニットを使用してください。

● Ai-NET 非対応ヘッドユニット / デジタル・オーディオ・プロセッサ（PXA-H700、PXA-H900 など） / TV モニターを接続する



- Ai-NET非対応ヘッドユニットとデジタル・オーディオ・プロセッサを組み合わせるときは、本機とデジタル・オーディオ・プロセッサの接続は光ファイバーケーブルのみを接続してください。Ai-NET出力ケーブルと併用では接続しないでください。
- Ai-NET非対応ヘッドユニットを接続しないで、本機とデジタル・オーディオ・プロセッサのみを接続するときは、光ファイバーケーブルとAi-NET出力ケーブルを併用で接続ができます。
- 他社TVモニターを接続するときは、リモコン入力コード (白 / 茶) ⑤は接続不要です。添付のリモコン受光ユニットをお使いください。
- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。

DVA-5210設定

接続終了後DVA-5210のシステム設定が必要になります。
製品を固定する前に巻末を参照してシステム設定を変更してください。

設定項目	設定
システムスイッチ	2(STANDALONE)
Ai-NET設定	—

⚠ 注意

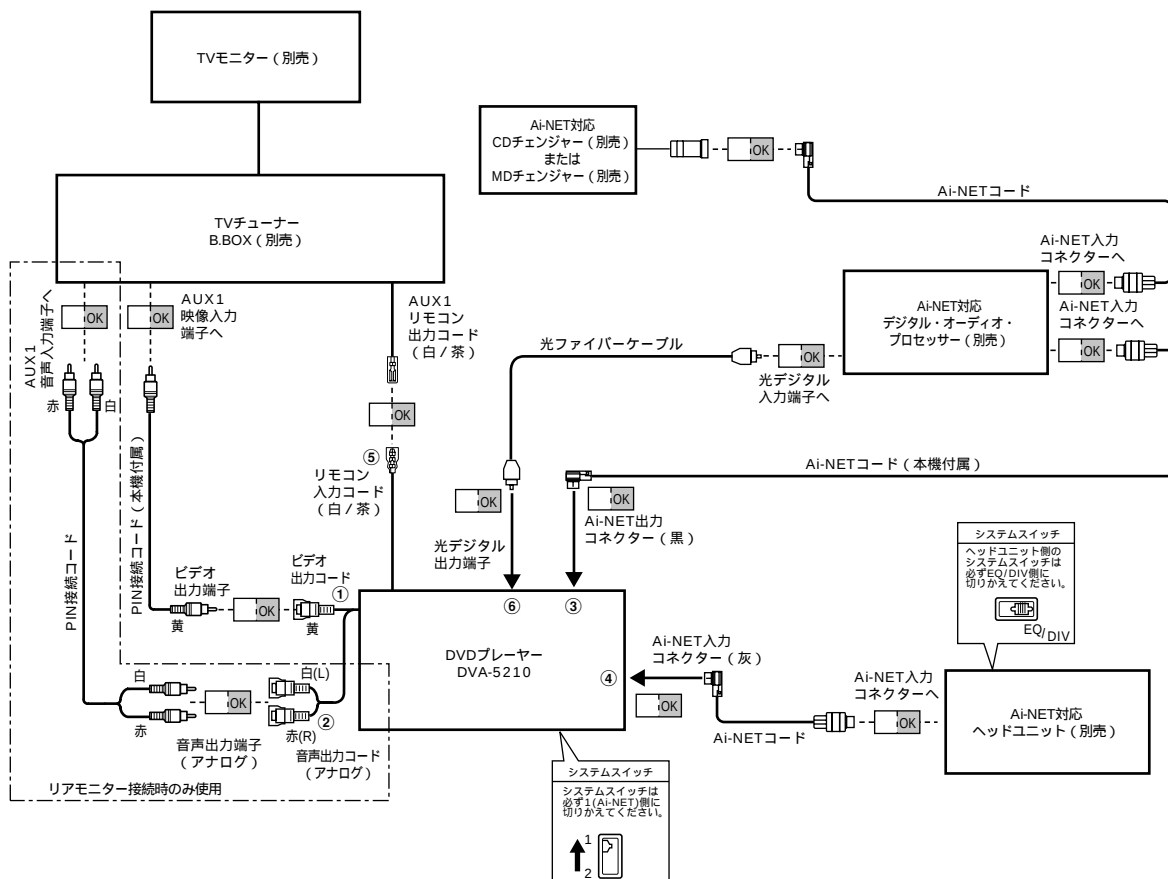
光ファイバーケーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。

- 光ファイバーケーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。(最小曲げ半径は、30mmです)
- 光ファイバーケーブルに製品などを載せないでください。



取り付けと接続

- Ai-NET対応ヘッドユニット / デジタル・オーディオ・プロセッサ(PXA-H700、PXA-H900 など) / TV モニターを接続する



DVA-5210設定

接続終了後DVA-5210のシステム設定が必要になります。
製品を固定する前に巻末を参照してシステム設定を変更してください。

設定項目	設定	
	2004年1月以降に発売のAi-NET対応AVヘッドユニット (IVA-D300J など)	Ai-NET対応ヘッドユニットまたは2003年12月以前に発売のAi-NET対応AVヘッドユニット (IVA-D900J など)
システムスイッチ	1 (Ai-NET)	
Ai-NET設定	FULL	TIME



注意

- ヘッドユニット側のシステム・スイッチの切りかえは、必ず電源をONする前に行ってください。
- 本機のACC電源コードは接続不要です。

光ファイバーケーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。

- 光ファイバーケーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。(最小曲げ半径は、30mmです)
- 光ファイバーケーブルに製品などを載せないでください。

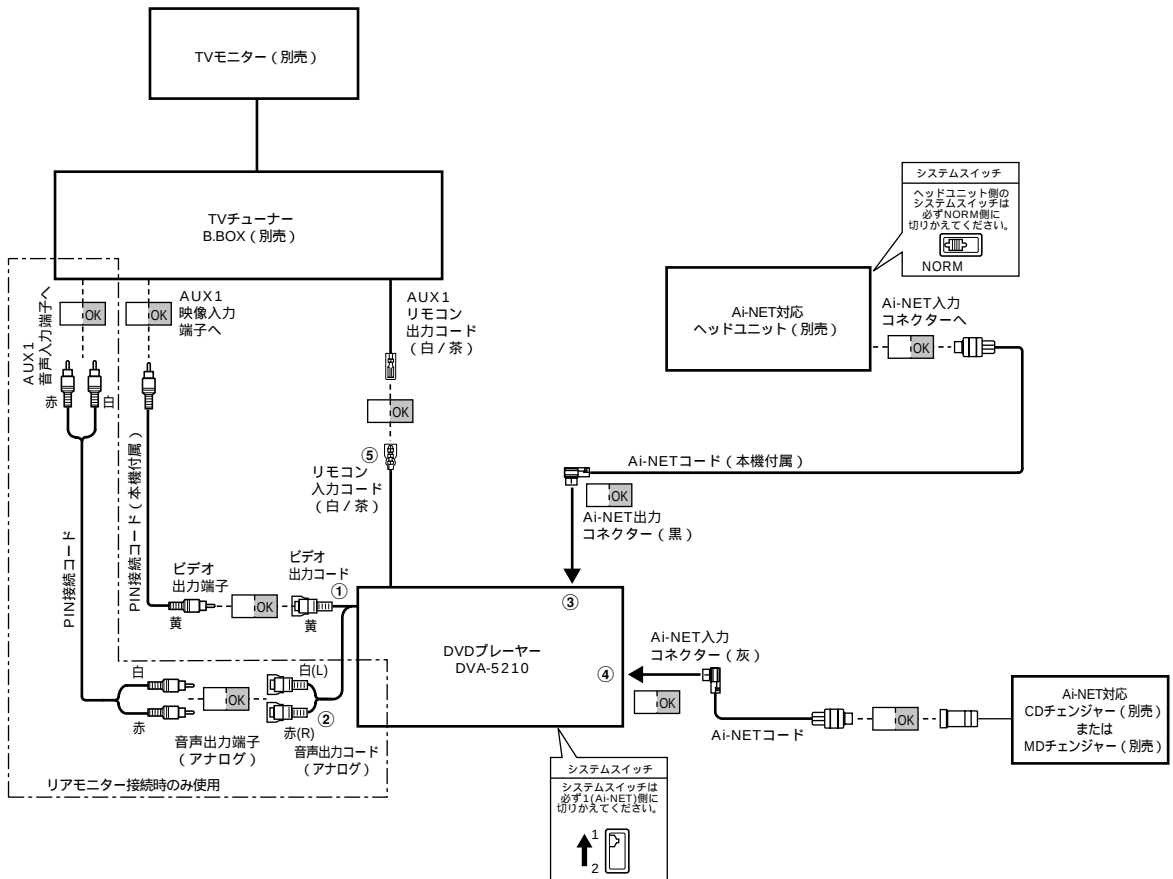


Memo

- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
- リアモニターを接続するときは、フロント側モニターのRCA OUTPUT (TVチューナーBOX)へ接続してください。



● Ai-NET 対応ヘッドユニット / TV モニターを接続する



DVA-5210設定

接続終了後DVA-5210のシステム設定が必要になります。
製品を固定する前に巻末を参照してシステム設定を変更してください。

設定項目	設定	
	2004年1月以降に発売のAi-NET対応AVヘッドユニット (IVA-D300Jなど)	Ai-NET対応ヘッドユニットまたは2003年12月以前に発売のAi-NET対応AVヘッドユニット (IVA-D900Jなど)
システムスイッチ	1 (Ai-NET)	
Ai-NET設定	FULL	TIME



- 注意**
- ヘッドユニット側のシステム・スイッチの切りかえは、必ず電源をONする前に行ってください。
 - 本機のACC電源コードは接続不要です。



- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
- リアモニターを接続するときは、フロント側モニターのRCA OUTPUT(TVチューナーBOX)へ接続してください。

Q & A

Q 画面サイズを大きくできないの？

- A** 画面サイズを大きくするには、TV モニター側で調整してください。
ALPINE 製ワイドモニターの場合は、ZOOM モードまたはシネマモードにすると画面いっぱいに映像が映しだされます。
ソフトによっては、画面の端が切れたり、縦横の比率が変わる場合がありますので、お好みで設定してください。TV モニター側の取扱説明書もあわせてご覧ください。

Q どんなディスクが再生できますか？

- A** DVD-ROM、CD-ROM（MP3/WMA ファイルを除く）、フォトCD、ナビゲーション専用ディスクなどは再生方式が違うため再生できません。
また、海外で購入した DVD ビデオでもリージョンコードやカラーテレビ方式が異なる場合がありますので注意してください。
再生可能なディスクについては3ページをご覧ください。

Q 電源を OFF にしても DVD ビデオを 続きから観れますか？

- A** 本機はプレイポジションメモリ機能を搭載しています。再生中に電源またはイグニッションキーを OFF にしたり、ソースを切りかえても次に電源を ON すると続きから再生します。

Q ビデオ CD がメニュー画面のまま再生できないけど再生するにはどうするの？

- A** ビデオ CD にはプレイバックコントロール（PBC）付きのがあります。このディスクの場合はメニュー画面から再生したいトラックを選ばないと再生できません。また、MENU ボタンを押して PBC を解除することもできます。その場合は音楽 CD と同様の再生ができます。

Q リモコンで操作した時に ⊙ マークが表示されて操作できないけど故障なの？

- A** ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。⊙ マークが表示された場合は、その操作は受け付けできません。

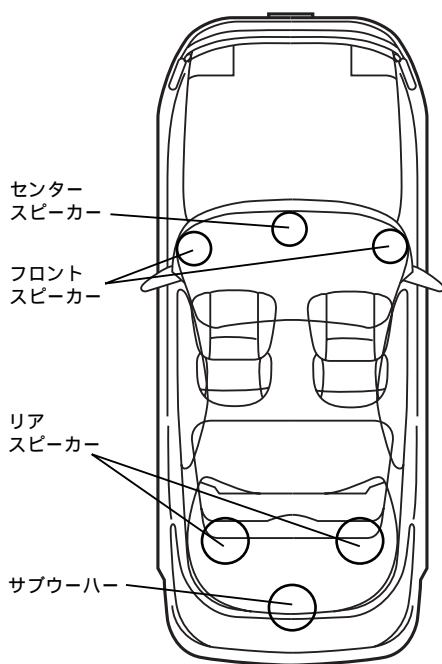
用語解説

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルはドルビー研究所が開発したデジタルオーディオ圧縮技術で、大量のオーディオデータを効率的にディスクに記録できるようにします。モノラル（1チャンネル）から5.1チャンネルのサラウンドサウンドにいたるすべてのオーディオ信号に適合しています。異なるチャンネルへの信号は完全に独立し、さらに高品質のデジタルサウンドのため音質の低下はまったくありません。

完全な5.1チャンネル・サラウンドサウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900/PXA-H510/PXA-H700）が必要です。

DVA-5210は、ドルビーデジタルのデコードを行い、アナログオーディオ信号を出力します。その場合は2チャンネルオーディオで5.1チャンネルではありません。



ドルビーデジタル / DTS を楽しむための
スピーカーレイアウト

DTS

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTS サウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

DTS サラウンドを楽しむには別売のDTS デジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900/PXA-H700）が必要です。また、DVD ビデオソフトもDTSに対応したものをご使用ください。

DVA-5210は、DTS2チャンネルデコーダーを内蔵しており、アナログ信号を出力します。

PRO LOGIC

PRO LOGICは、ドルビーサラウンドでエンコードされたプログラムをデコードするときに用いられる技術です。PRO LOGICデコーディングによって、2チャンネル（ステレオ）のソースから4チャンネル（フロント左右、中央、およびモノラルリアサラウンド）のサウンドを提供します。

PRO LOGIC サウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900/PXA-H510）が必要です。

Dolby PRO LOGIC II

Dolby PRO LOGIC IIは、2チャンネルソースを5チャンネルで全帯域再生します。それを行うのが、ソースにない音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダです。

Dolby PRO LOGIC II サウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H700）が必要です。

リニア PCM 音声（LPCM）

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

視聴規制（パレンタルロック）

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

言語コード表

(詳しくは17ページをご覧ください。)

記号	コード	言語
AA	6565	アフアル語
AB	6566	アブバシア語
AF	6570	アフリカーンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランドゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語
IE	7369	国際語

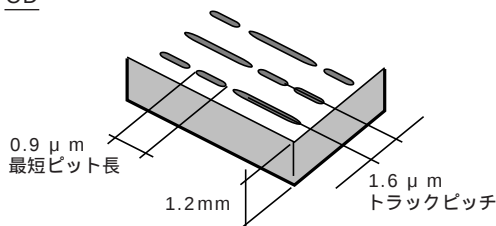
記号	コード	言語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
JI	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフアン)オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ＝ロマン語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語

記号	コード	言語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スンダ語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニャ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

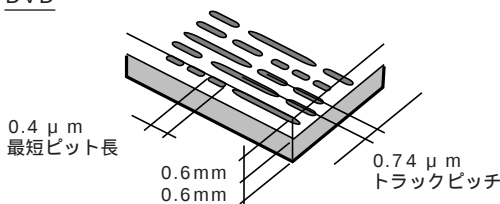
DVD について

音楽CDやDVD等のディスクには、情報を記録するための溝(トラック)があります。そこに、0と1のデジタル情報を凹凸で表した細かいビットが作られ、それをレーザー光で読み取り再生します。DVDは、トラック間隔をCDの半分以下に狭め、ビットもより細かくして高密度でより多くの情報を記録させています。

CD



DVD



12cmのディスクに映画なら1本分、音楽なら約4時間を収録できます。

さらに水平解像度500本以上の高画質により透明感のある画質、鮮やかな色合いを再現します。また、別売りのデジタルオーディオプロセッサ (PXA-H900/PXA-H510/PXA-H700)と組み合わせることによりドルビーデジタル5.1chサラウンドで劇場の迫力と臨場感を再現することができます。

さらに、DVDディスクにはいろいろな機能があります。

- マルチ音声機能* (11 ページ)

1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。リモコンのボタン操作でお好みの音声で再生することができます。

- サブタイトル(字幕)機能* (12 ページ)

映画の字幕スーパーなら32カ国語まで収録できます。リモコンのボタン操作でお好みの字幕で再生することができます。

- マルチアングル機能* (12 ページ)

複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、リモコンのボタン操作でお好みのアングル(角度)で再生することができます。

- マルチストーリー機能*

1本の映画の中にいくつものストーリーが入っていて、お好みのストーリーを選ぶことにより何通りものストーリーを楽しむことができます。

操作方法はディスクによって異なりますが、再生中にストーリー選択画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。



- *これらの機能は、ディスクによって収録されている音声言語、字幕、アングルなどが異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

MP3/WMA について

注意：

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMA データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3 とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。（サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合）このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMA とは？

正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約半分）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

MP3/WMAへ圧縮する方法

MP3/WMA専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。また、本機で再生可能なMP3/WMAファイルは、拡張子が「mp3」「.wma」「.rmc」です（WMAはVer.7.1、8に対応）

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3：32kHz～48kHz、WMA：32kHz～48kHz

ビットレート

MP3：32kbps～320kbps、WMA：32kbps～192kbps

但し、「22.05kHz」などサンプリングレートによっては、本機で正しく表示されない場合があります。

ID3タグ / WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1に対応しています。

MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

本機で表示可能な文字は半角の英数、_（アンダーバー）のみです。

MP3/WMAディスクを作成するには

MP3/WMAファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RWメディアに書き込みます。

ファイル最大数：255、フォルダ最大数：255まで書き込みできます。但し、ライティングソフトによっては再生できない場合があります。MP3作成ソフトの一部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができないことがあります。このような場合には、他のライティングソフトを使用してMP3フォルダ（ファイル）のみを記録してください。

対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

対応ファイルシステム

ISO9660 レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ/ファイル名の文字数（31文字（拡張子含む））、フォルダ/ファイル名で利用できる文字（A～Z、0～9、_（アンダスコア））などの制限があります。

また、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。但し、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

対応フォーマット

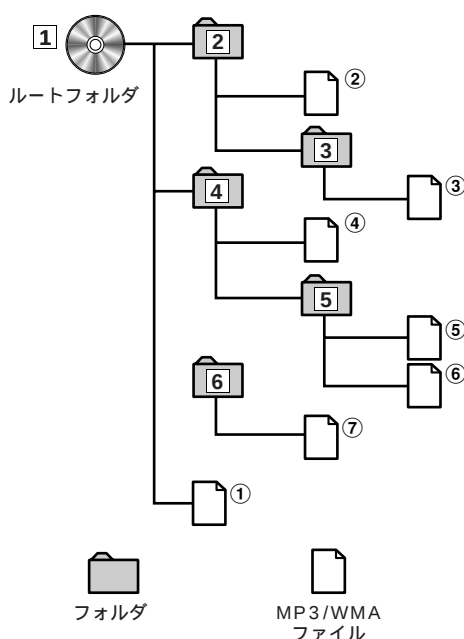
CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD（CD-Extra）およびマルチセッションに対応しています。

但し、Track At Onceやバケットライトで作成されたCDの場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。（実際に表示される番号ではありません）



用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことで、たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMAファイルに書き込まれた楽曲情報。（MP3：ID3タグ、WMA：WMAタグ）

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれます。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

→ 接続・配線は正しく行われていますか？

→ 下の表をもう一度ご確認ください。

→ それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口(P 40)にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。(→ P 28)
- 結露している
 - ・ しばらく放置 (1 時間程度) してから使う。

ディスクが入らない。

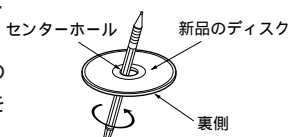
- すでに別のディスクが入っている。
 - ・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。 / 音がとぶ。 / 音が歪む。 / 早送り / 早戻しができない。

- 車内温度が 50 以上ある。
 - ・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
 - ・ ディスクがひどく汚れている。録音状態が良くない。
 - ・ 本機対応のディスクでない。
 - ・ 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
 - ・ しばらく放置してから使う。
- ピックアップレンズが汚れている。
 - ・ メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ (→ P 40) 市販のレンズクリーナーは、使用できません。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面 / センターホールにバリがある。
 - ・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R / CD-RW が再生できない。

- クローズセッション (ファイナライズ処理) を行っていない。
 - ・ クローズセッション (ファイナライズ処理) を行い、再度試してみる。

MP3 / WMA が演奏されない。

- 書き込みに失敗している / 対応フォーマット以外で書き込まれている。
 - ・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3 / WMA について」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。(→ P 36)

動作しない。

- モニター電源が入っていない。
 - ・ モニターの電源を入れる。
- 結露している
 - ・ しばらく放置 (1 時間程度) してから使う。

映像が出ない。

- モニターのモードがご覧になりたいモードになっていない。
 - ・ ご覧になりたいモードに切りかえる。
 - モニターのパーキング・ブレーキ・コードを接続していない。
 - ・ パーキング・ブレーキをかけていない。
 - ・ モニターのパーキング・ブレーキ・コードを接続し、パーキング・ブレーキをかける。
- (詳しくはモニター側の説明書をご覧ください。)

再生が始まらない。

- ディスクを裏返しに入れている。
 - ・ ディスクを確認し、ラベル印刷面を上に入れて入れる。
- ディスクが汚れている。
 - ・ ディスクをきれいにする。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
 - ・ 再生できるディスクを確認する。(→ P 3)
- 視聴制限がされている。
 - ・ 視聴制限を解除、または規制レベルを変更する。
- セットアップメニューが表示されている。
 - ・ リモコンのSETUPボタンを押して、画面表示を消す。

映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする。

- 早送り / 早戻しをした。
 - ・ 多少乱れることはありますが、故障ではありません。
 - 車のバッテリー電源が低下している。
 - ・ バッテリー電源および配線を確認する。
- (負荷状態で11ボルトを下回ると誤作動の原因となります。)

- モニターの蛍光管が消耗している。
 - ・ モニターの蛍光管を交換する。

映像が時々止まる。

- ディスクにキズがある。
 - ・ キズのないディスクと交換する。

ソースを切りかえても電源が切れない。(Ai-NET 対応ヘッドユニット接続時のみ)

- ACC 電源コードが接続されている。
 - ・ Ai-NET 対応ヘッドユニットおよび Ai-NET 対応 AV ヘッドユニットと組み合わせた場合は、ACC 電源コードは接続しない。

メッセージが表れたら...

NO DISC

- ディスクが入っていない。
 - ディスクを入れる。
- ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏またはイジェクトができない。
 - 次の方法でディスクを取り出す。
 - ① ドアを開く。
 - ② 「▲」を 3 秒以上押す。

HI-TEMP

- 車内温度が高すぎる。
 - 車内温度を常温まで下げる。

DISC ERROR

- ディスク傷、ディスク汚れ。/ 録音状態が良くない。/ 本機対応のディスクでない。
 - 「▲」を押して、ディスクを交換する。
- メカニズムエラー。
 - ① 「▲」を押して、ディスクを取り出す。
 - イジェクトできないときは、「▲」を 3 秒以上押してディスクを取り出す。それでもイジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
 - ② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
 - ③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
- 車内温度が低すぎる。
 - 車内温度を常温まで上げる。
- オーディオデータと JPEG データが混在されているディスクを入れた。
 - PLAY MODE の設定を「CD-DA」に設定する。(→ P15)



- リモコン操作を受け付けない。
 - ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。
 - ⓪ マークが表示された場合は、その操作は受け付けできません。

REGIONAL CODE VIOLATION

- ディスクの地域コード番号が合っていない。
 - 地域コード番号が対応しているディスクを入れる。(→ P3)

VIDEO SIGNAL SYSTEM IS NOT CORRECT

- PAL 対応のディスクを入れた。
 - NTSC 対応のディスクを入れる。

LOADING ERROR

- メカニズムエラー。

- ① 「▲」を押して、ディスクを取り出す。
 - イジェクトできないときは、「▲」を 3 秒以上押してディスクを取り出す。それでもイジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
- ② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す
- ③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

EJECT ERROR

規格

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。

信号システム	NTSC 規格
水平解像度	500 本以上
画像出力レベル	1Vp-p (75 Ω)
画像 SN 比	DVD ; 60dB
音声 SN 比	DVD ; 95dB
	CD ; 90dB
周波数特性	DVD ; 5Hz ~ 22kHz (± 1dB)(48kHz サンプリング)
	DVD ; 5Hz ~ 44kHz (± 1dB)(96kHz サンプリング)
	CD ; 5Hz ~ 20kHz (± 1dB)
ダイナミック・レンジ	90dB 以上
ワウフラッター	測定限界以下
チャンネル・セパレーション	85dB
高周波歪率	0.03%
音声出力	PIN(RCA) :1200mV
	Ai-NET : 850mV
使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
動作温度	- 10 ~ + 60
重量	1.5kg
外形寸法	178 (幅) × 50 (高さ) × 165 (奥行) mm

< リモコン部 >

使用電源	CR2025 × 1 DC3V
外形寸法	51 (幅) × 119 (高さ) × 13 (奥行) mm
重量	50g (電池含まず)

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または40ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または40ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成16年7月1日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

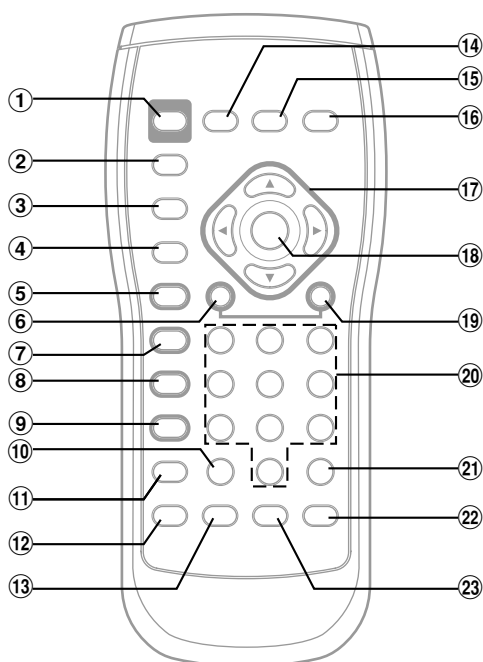
インフォメーションセンター インフォメーションセンター 西日本分室 ● 電話は混雑が予想されます。FAXをおすすめします。 FAX:048-662-6676	● TEL:048-662-6636 ● TEL:06-6386-2236 ● 電話受付時間 土日祝日、 弊社休業日を除く 9:30～17:30
---	---

営業所・販社名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス 郡山オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811 019-664-1210	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	宮城県 / 山形県 / 秋田県 福島県 青森県 / 岩手県
北関東エリア 埼玉オフィス 高崎オフィス 松本オフィス 宇都宮オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 027-361-5813 0263-48-4772 028-610-8890 025-257-8680	〒331-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町3丁目179番 〒370-0073 群馬県高崎市緑町3丁目16番6 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒321-0942 栃木県宇都宮市峰2-28-12 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	埼玉県 群馬県 長野県 / 山梨県 栃木県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	千代田区 / 中央区 / 江東区 / 墨田区 / 台東区 / 荒川区 / 文京区 / 江戸川区 / 足立区 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 東京オフィス 神奈川オフィス	045-541-7261 045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都(千代田区 / 中央区 / 江東区 / 墨田区 / 台東区 / 荒川区 / 文京区 / 江戸川区 / 足立区以外) 神奈川県 / 静岡県(大井川以南)
中部圏エリア 中部オフィス 北陸オフィス	052-779-5655 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス 高松オフィス	086-243-8257 082-846-1175 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県 / 島根県 / 鳥取県 広島県 / 山口県 徳島県 / 香川県 / 愛媛県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス 鹿児島オフィス	092-452-8870 095-727-1581 099-218-8321	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号 ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13 〒890-0005 鹿児島県鹿児島市下伊敷1丁目53番25号 ティアラハイツ102	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 長崎県 鹿児島県 / 宮崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
アルパイン高知販売(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県
(株)パルス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3	沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

リモコンボタンの機能



- ① PWR ボタン
電源 ON/OFF 切りかえ
2 秒以上押しで、NTSC/PAL を切りかえる。
- ② SETUP ボタン
SETUP (初期設定) 画面を呼び出す。
- ③ LIST ボタン
MP3/WMA のフォルダサーチ / ファイルサーチモードを切りかえる。
- ④ RETURN ボタン
ひとつ前の選択画面に戻す。
- ⑤ ►/|| ボタン
再生 / 静止 (一時停止) を切りかえる。
- ⑥ ◀◀ ボタン
CD : トラック DOWN
 押し続けると早戻し
MP3 モード : ファイル DOWN
 押し続けると早戻し
DVD / ビデオ CD モード :
・映像の頭出しをする。
・再生中に押し続けると 2 倍速早戻し、さらにその状態で 5 秒以上押し続けると 8 倍速で映像を早戻しする。
- ⑦ ■ ボタン
PRE STOP する。再度押すと PRE STOP を解除し再生を止める。
- ⑧ FOLDER ▲ ボタン
MP3/WMA のフォルダ選択。

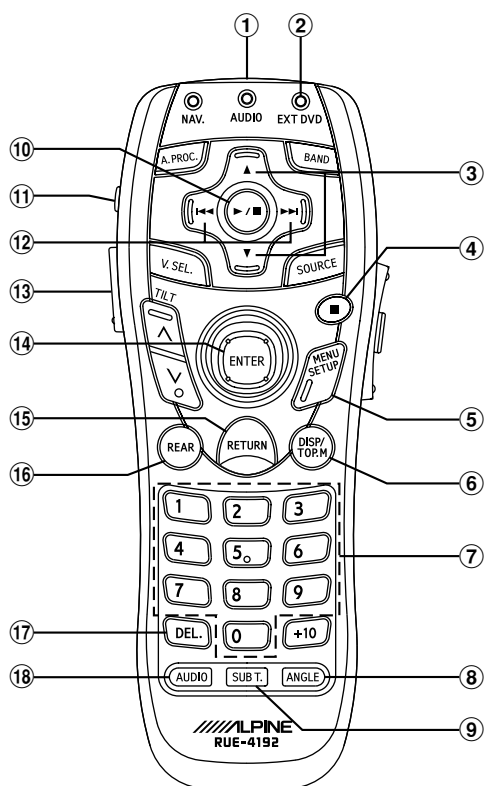
- ⑨ FOLDER ▼ ボタン
MP3/WMA のフォルダ選択。
- ⑩ CLR (ALL CLR) ボタン
選択 / 入力した数字を 1 文字ずつ取り消す。
2 秒以上押しで、選択 / 入力した数字を全文字消去する。
- ⑪ REPEAT ボタン
繰り返し再生の切りかえ。
- ⑫ M.I.X. ボタン
CD/MP3/WMA の M.I.X. 演奏を切りかえる。
- ⑬ AUDIO ボタン
音声を切りかえる。
- ⑭ DISPLAY ボタン
再生状態を画面に表示する。
- ⑮ MENU ボタン
DVD メニューを表示。
- ⑯ TOP MENU ボタン
タイトルメニューを表示する。
- ⑰ ▲▼◀▶
画面に表示される項目を選択。
- ⑱ ENT. ボタン
選択した項目の決定。
- ⑲ ►►I ボタン
CD : トラック UP
 押し続けると早送り
MP3 モード : ファイル UP
 押し続けると早送り
DVD / ビデオ CD モード :
・映像の頭出しをする。
・再生中に押し続けると 2 倍速早送りし、さらにその状態で 5 秒以上押し続けると 8 倍速で映像を早送りする。
・一時停止中に押し続けると、1/8 倍速でスローモーション再生をする。さらにその状態で 5 秒以上押し続けると 1/2 倍速でスローモーション再生をする。
・一時停止中に 1 回押すごとにコマ送り再生をする。
- ⑳ 10 キー
数字の入力。
- ㉑ V.OUT ボタン
別のソースのときに DVD 映像をモニターへ出力する。(Ai-NET 接続時のみ)
- ㉒ ANGLE ボタン
アングルを切りかえる。
- ㉓ SUBTITLE ボタン
字幕を切りかえる。



- ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。Ⓢ マークが表示された場合は、その操作は受け付けできません。

別売リモコン (RUE-4192) からの操作

本機を操作する場合は、リモコン裏側のモード切り換えスイッチを「EXT DVD」側に切りかえてください。



- ① リモコン信号送信部
- ② EXT DVD 送信インジケータ
- ③ フォルダ切りかえ
- ④ 停止
- ⑤ DVDメニュー表示、長押しでSETUP(初期設定)画面呼び出し
- ⑥ 再生状態表示、長押しでタイトルメニュー表示
- ⑦ 数字の入力
- ⑧ アングル切りかえ、長押しで M.I.X. 切りかえ
- ⑨ 字幕切りかえ
- ⑩ 再生 / 静止 (一時停止) 切りかえ
- ⑪ 電源 ON/OFF 切りかえ、長押しで NTSC/PAL 切りかえ
- ⑫ チャプター / トラック / ファイル切りかえ、長押しで早送り / 早戻し
- ⑬ リモコンボタン照明
- ⑭ 画面に表示される項目の選択 / 決定
- ⑮ ひとつ前の選択画面に戻る
- ⑯ 別のソースのときに DVD 映像をモニターへ出力する。
(Ai-NET 接続時のみ)
- ⑰ 選択 / 入力した数字を一文ずつ取り消す、長押しで選択 / 入力した数字を全消去する。
- ⑱ 音声切りかえ、長押しで REPEAT 切りかえ
- ⑲ 本機を操作する場合は、「EXT DVD」側に切りかえる。



- ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けない場合があります。その時はモニター画面に  マークを表示します。

PUSH LIGHT
EXT DVD AUDIO NAV.

⑲

索引

あ 行

アングル切りかえ (DVD)	12
お問い合わせ窓口	40
音声言語切りかえ	11
音声言語の設定	17

か 行

カスタム設定	22
カンントリーコード設定	19
規格	39
曲順を変えて聴く (CD)	14
曲順を変えて聴く (MP3/WMA)	16
曲の頭出し (CD)	14
曲の頭出し (MP3/WMA)	15
繰り返し聴く (CD)	14
繰り返し聴く (MP3/WMA)	16
言語コード表	34
言語設定を変更する	17
故障かな?と思ったら	37
コマ送り再生	10

さ 行

再生できないディスク	3
再生できるディスク	3
再生中止	9
再生停止	9
サブタイトル切りかえ	12
サンプリングレートについて	36
システムアップの例	29
システムスイッチ	27
視聴規制 (パレンタルロック) について	33
視聴規制 (パレンタルロック) 設定	19
字幕言語切りかえ	12
字幕言語設定	17
スクロールタイプ設定	23
スローモーション再生	10
静止する (一時停止)	10
操作音設定	23

た 行

タイトルスクロール設定	24
タイトル番号で頭出し (DVD)	10
チャプター / トラック / タイトルリピート再生	11
チャプター / トラックの頭出し	10
チャプター / トラック番号で直接頭出し	11
ディスクの出し入れ	7
デジタル出力設定	20
電源の ON/OFF	8
電池を入れる	6
取り付けと接続	26
ドルビーデジタルについて	33

は 行

早送り / 早戻し (CD)	14
早送り / 早戻し (DVD / ビデオ CD)	10
早送り / 早戻し (MP3/WMA)	15
ビットレートについて	36
ビデオ CD について	3

ビデオ CD の使用状態を表示する	13
ビデオ CD を再生する	9
フォルダ / ファイルサーチ	16
フォルダを選択する	15
ヘッドユニットからの操作	25
別売リモコン (RUE-4192) からの操作	42
本機で再生できるディスクについて	3

ま 行

メニュー言語設定	17
----------------	----

や 行

用語解説	33
------------	----

ら 行

リセットする	8
リニア PCM 音声 (LPCM) について	33
リピート (CD)	14
リピート (DVD / ビデオ CD)	11
リピート (MP3/WMA)	16
リモコンご使用にあたって	6
リモコンボタンの機能	41

A to Z

Ai-NET 設定	22
AUTO SCROLL	24
BEEP	23
CD を聴く	14
COUNTRY CODE	19
CUSTOM SETUP	22
Dolby PRO LOGIC II について	33
DTS について	33
DVD-R / DVD-RW ディスクのご使用について	4
DVD について	35
DVD の使用状態を表示する	13
DVD の初期設定	17
DVD リージョン番号	3
DVD を再生する	9
ID3 タグ / WMA タグについて	36
LANGUAGES	17
M.I.X. (CD)	14
M.I.X. (MP3/WMA)	16
MP3/WMA について	36
MP3/WMA 再生データの設定	15
MP3/WMA を聴く	15
NTSC/PAL の切りかえ	8
PARENTAL	19
PLAY MODE	15
PRE-STOP	9
PRO LOGIC について	33
Q&A	32
REPEAT (CD)	14
REPEAT (MP3/WMA)	16
SETUP	17
TITLE SCROLL	23
TV スクリーン設定	18

必ずお読みください

DVA-5210を接続した場合は、本機側のシステム設定が必要になります。製品を固定する前に、以下の設定を必ず行ってください。

システムスイッチの切りかえ

本機とAi-NET対応ヘッドユニットまたはAi-NET対応AVヘッドユニットを接続したときに、ヘッドユニットから操作できるように設定します。

1 電源コードを抜く。

2 本機の底面にあるシステムスイッチを棒状のものを垂直に挿入して切りかえます。

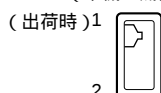
システムスイッチ 1

Ai-NET対応ヘッドユニットまたはAi-NET対応AVヘッドユニットと接続したとき
この場合、2に設定するとヘッドユニットからコントロールできなくなったり、外部製品(CDチェンジャーなど)の音声が聞こえなくなる。
工場出荷時は「1」。

システムスイッチ 2

Ai-NET非対応ヘッドユニットおよび他社ヘッドユニットを使用しているとき

(本機の底面部)



STANDALONE時



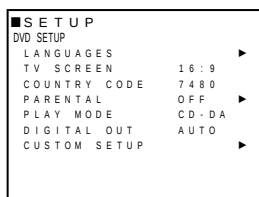
3 電源コードを接続する。

Ai-NET 設定を変更する

接続したAi-NET対応ヘッドユニットまたはAVヘッドユニットにDVA-5210で再生中のディスク情報を表示する設定をします。

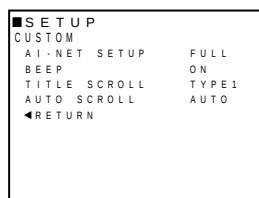
1 「SETUP」を押す。

初期設定メニューがモニター画面に表示される。



2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「▶」または「ENT.」を押す。

3 「▲」または「▼」を押してAI-NET SETUPを選ぶ。



4 「◀」「▶」または「ENT.」を押してFULL/TIMEを選ぶ。

FULL

2004年1月以降発売のAi-NET対応AVヘッドユニット(IVA-D300Jなど)と接続したとき。AVヘッドユニットで表示できる内容の情報を送信します。工場出荷時はFULL。

TIME

Ai-NET対応ヘッドユニットまたは2003年12月以前に発売されたAi-NET対応AVヘッドユニット(IVA-D900Jなど)と接続したとき。ヘッドユニット側に、再生時間、トラックNo.表示の情報を送信します。CD TEXT、TITLEなどの情報はヘッドユニットで表示できません。

上記のヘッドユニットで、FULLに設定するとDVA-5210の情報を認識できなくなり、再生時間、トラックNo.表示は正しく表示されません。



Memo

- 接続するAi-NET対応ヘッドユニットによって表示できる内容が異なる場合があります。
- 2001年1月以前に発売されたヘッドユニット、AVヘッドユニットでは、TIMEに設定してもDVA-5210の情報は正しく表示されません。
- 「RETURN」を押す、または「▲」「▼」を押して「RETURN」を選び「ENT.」を押すと1つ前の画面に戻ります。

5 「SETUP」を押す。

設定を保存し、設定モードを終了する。